

I 学校の状況

学級数	8	児童数	71	教職員数	15
メールアドレス	kochi-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/kochi_sho/				

II 教育目標

「夢と志」をもち主体的に生きる児童の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

「未来の社会人を育てる・地域を元気にする」学校を創る ～和気・本気・根気・元気～

IV 中期経営目標及び短期経営目標

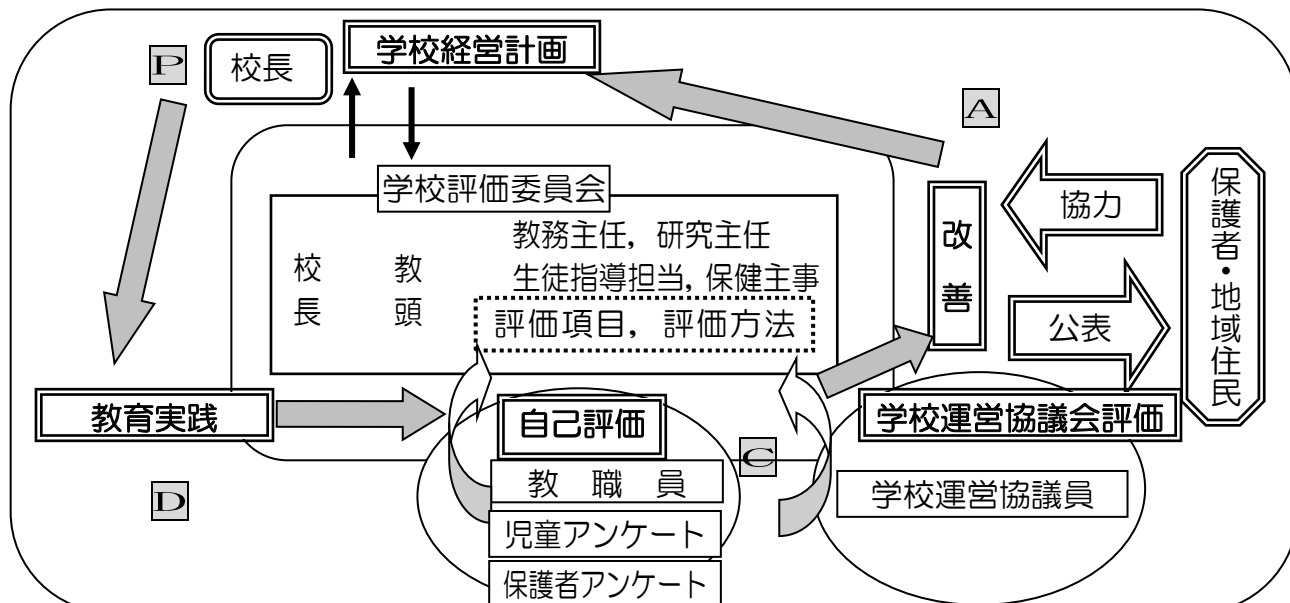
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	自分の考えを進んで表現する力を育成することで、確かな学力をつける。	基礎学力の向上	○基礎・基本の定着の取組 (1)百ます・コグトレ・家庭学習の実施 (2)個別指導の充実 (3)テスト結果の分析と指導	○単元テストで80点以上(80%)
			単元を貫く問いに向けた、効果的な話し合い活動の充実	○意欲をかき立てる問いの設定 (1)単元を貫く問いの設定 (2)個別の問いの設定 ○効果的な話し合い活動の充実 ○ICTの効果的な活用	○自分の考えを人にわかりやすく伝えることのできる児童の割合(80%) ○授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童の割合(80%)
豊かな心	2	思いやりの心や感動する心など豊かな心を育む。	童謡一人歌いを通して自己表現力の育成	・意図的な場の設定 ・自己目標の設定と挑戦への指導 ・肯定的評価の継続 ・教育活動との関連付け	○一人歌いを通して人前で表現することに自信がついたと答える児童(85%)
			東広島スタンダードの定着	○東広島スタンダード「あいさつ」の取組 (1)小中一貫した指導 あいさつのレベルの提示(レベル0~5まで) (2)児童会によるあいさつ運動の実施 (3)挨拶名人表彰	○「あいさつ」の質の向上小中一貫の取組である「あいさつ」レベル4以上の割合(80%)
健やかな体	4	基本的な生活習慣の定着や健康や安全について理解し、たくましい体をつくる。	メディア利用の適正化による基本的な生活習慣の定着	○メディアにかける時間の指導 (1)小中学校で情報の共有 (2)トラブル未然防止学習の実施 (3)Stop7週間による取組 (4)健康被害等の保健指導の充実 (5)保護者への啓発	○週2日以上、2時間以上携帯電話・スマートフォン・ゲーム機を使用しない児童の割合(75%)
			体力の向上	○年間を通して朝マラソン、縄跳びの実施 ○授業での運動の工夫	○体カテスト「シャトルラン」2回目が1回目を上回る割合(85%)
信頼される学校	3	教職員一人一人の働き方に対する意識の醸成を図り、生徒と向き合う時間を確保する。	コミュニティスクールの推進	○地域課題の発見と地域貢献 (1)地域学習の充実・地域行事への参画(地域人材を活用した地域探究と情報発信) (2)小中連携による系統的な学び (3)学校運営協議会における情報共有 (4)コミュニティスクールだよりの発行(月1回)	○ふるさとへのよさがわかる児童(95%)
			働き方改革の推進	○業務改善、勤務時間外の在校時間の縮減 (1)業務内容や行事の見直しによる児童と向き合う時間の確保 (2)チーム力の向上(熟議による同僚性の構築) (3)ICTを活用した効率的な業務の推進(管理職との対話による業務改善意欲の高揚) (4)自己の定時退校の励行とワークライフバランスの促進	○自分が掲げた目標に向かって仕事ができていると感じる教職員の割合(80%)

V 学校評価

1 学校評価システムの組織

企画委員会（校長・教頭・各主任）で内容や方法を検討し，年3回学校運営協議会を実施する。

2 自己評価および学校運営協議会での評価の実施計画



学校運営協議会評価	自己評価	公表など
<p>学校運営協議会を組織</p> <p>↓</p> <p>学校運営協議会①6月 ・今年度の取り組み目標・計画説明</p> <p>○年間を通じて随時，授業・学校行事・施設設備の観察・教職員との対話とともに，自己評価の取り組み状況などの説明を受け，校長との意見交流などを実施。</p> <p>↓</p> <p>学校運営協議会②11月 ・中間評価の結果についての評価</p> <p>↓</p> <p>学校運営協議会③3月 ・自己評価結果について評価と助言 ・次年度へ向けての助言</p>	<p>A</p> <p>P</p> <p>D</p> <p>学校・学校評価委員会</p> <p>○前年度の学校評価結果，改善方法の反映 ○重点目標・評価項目・指標・推進担当者など推進計画の設定</p> <p>○年間を通じ，実践に対する継続的な情報・資料の収集・整理，進捗状況の把握と改善</p> <p>保護者・児童アンケート実施（9月）</p> <p>C</p> <p>○中間自己評価の実施 10月 ○見直し改善方策</p> <p>D</p> <p>C</p> <p>○年度末自己評価の実施 2月 ○自己評価結果を踏まえた改善方策</p> <p>A</p> <p>○学校運営協議会評価を踏まえ改善方策 ○次年度の目標設定・取組にむけ整理</p> <p>教育委員会への報告</p>	<p>公表など</p> <p>・重点目標などの周知 （4月 PTA 総会 ， HP 等）</p> <p>・学校評価にかかわるアンケートを計画的に行い，その都度学校便りなどで公表する。</p> <p>中間評価結果の公表 （11月学校便り・学級懇談会）</p> <p>年度末最終自己評価結果の公表 ・PTA まとめの会・3月学校便り・H.Pで公表，報告。 ・設置者に報告。</p>